

Numazu Fresh News

『柿田川生態系研究会』及び
『富士山麓現地見学会』を開催！！
(5/30～5/31)

発信日:2014/6/3

発信者:沼津河川国道事務所

5月30日(金)～31日(土)に柿田川生態系研究会メンバーの23名が、柿田川を含む富士山周辺の湧水群を知るために現地を見学しました。
研究会では、主に平成26年度の活動計画について議論しました。

鮎壺の滝



約1万年前に富士山から流れてきた三島溶岩流を流れ落ちる黄瀬川の滝。



研究会委員による現場視察



事務所長による現場説明

杉田不動尊



教授による現場説明



学生による研究内容の説明

柿田川生態系研究会(会議)



汽水・干潟域の生態系をめぐる保全古生物学的研究

佐藤 慎一 (東北大学総合学術博物館)

保全古生物学(Conservation paleobiology)とは？

= Actuopaleontology (考現古生物学, 現世古生物学...)

Richter (1929) が提唱した「考現地質学(Aktuo-Geologie)」(現在の堆積物, 堆積過程, 生物遺骸の分解・埋没などの観察結果を地質時代の現象に応用する学問分野)の一部。

現生古生態学(Actuopaleoecology)

特に、人為的影響を含む現生物の変化を対象にして、生態学的な実験や観察などを通して化石の古生態を考察する研究方法(佐藤, 2000)。

キーワード: 人為的影響, 環境改変

古生態学 東北大学助教による講演

記事の詳細については(河)副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。